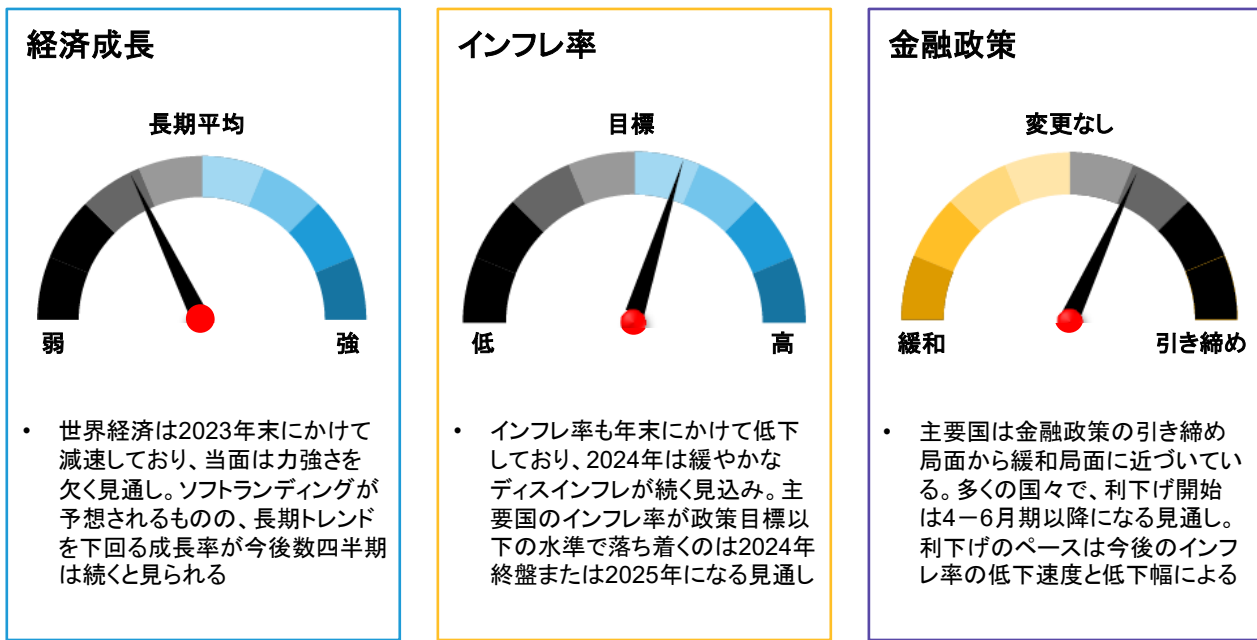


世界景気バロメーター

2024年1-3月期



米国の見通し

実質GDP成長率(%)		インフレ率(%)		政策金利(%)		10年国債利回り(%)	
2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予
2.7	0.8	3.8	2.5	5.375	4.125	3.88	3.25

2023年12月31日現在。アライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」) 予想。予想は今後変更される可能性があります。出所: AB

- 米連邦準備制度理事会(FRB)による金利引き上げにもかかわらず、2023年の米国経済は大半の市場関係者の予想を上回るパフォーマンスとなった。当面は、これまでの金利上昇の影響による景気減速が予想されるが、景気後退には至らないソフトランディングの公算が大きいと見ている
- カギとなるのは労働市場の動向。これまでは堅調な実質所得の伸びが消費や経済全般を支えてきたが、今後数ヶ月はこのプラス要因がやや弱まる見通し。労働需給のひっ迫は解消されたとは言えないが、徐々に調整が進んでいる
- インフレ率は引き続き低下する見通し。財価格が前年同月比で横ばいの動きを続けているほか、労働市場の調整によりサービス価格も鈍化すると見られる。FRBのインフレ目標達成までの道のりはまだ長いですが、インフレの最悪期は過ぎたと言える。ABでは、FRBが金利引き下げを開始するのは4-6月期または7-9月期になると予想している

当資料は情報提供のみを目的としてアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーが作成したものを、アライアンス・バーンスタイン株式会社が翻訳したものであり、いかなる場合も当資料に記載されている情報は、投資助言としてみなされません。当資料は信用できると判断される情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、当資料に掲載されている予想、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。ABはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。

ユーロ圏の見通し

実質GDP成長率(%)		インフレ率(%)		政策金利(%)		10年国債利回り(%)		通貨 ユーロ/米ドル	
2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予
0.0	0.3	5.5	2.3	4.0	3.0	2.02	1.50	1.10	1.05

2023年12月31日現在。AB予想。予想は今後変更される可能性があります。出所: AB

- ・ 欧州のインフレ率は、予想を上回るペースで低下している。エネルギー価格下落の影響は縮小しつつあるが、基調的な物価動向を示す指標は、欧州中央銀行(ECB)のインフレ目標が比較的早期に達成される可能性を示唆している
- ・ インフレ率低下に伴い、2024年は実質所得の伸びがプラスに転じ、消費回復に寄与すると見込まれる。一方、2023年末にかけての成長鈍化が続いていることに加え、金融政策は依然引き締め基調にあり、財政面でもエネルギー関連の家計支援策終了が成長抑制要因となる可能性がある
- ・ 全体として、2024年は緩やかな景気回復が見込まれるものの、成長は低水準にとどまると予想される。ECBの金融政策は、インフレ率が明確かつ持続的に目標水準を下回らない限り、当面は現状維持が続く見通し

日本の見通し

実質GDP成長率(%)		インフレ率(%)		政策金利(%)		10年国債利回り(%)		通貨 米ドル/日本円	
2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予
1.5	1.0	2.5	2.0	0.00	0.10	0.61	0.75	141	130

2023年12月31日現在。AB予想。予想は今後変更される可能性があります。出所: AB

- ・ 日本でも基調的なインフレ率の持続的上昇が進んでおり、政策もこの動きを実質的に支援している
- ・ 日本銀行の政策変更タイミングは予想困難だが、今後数四半期のうちに「イールドカーブ・コントロール政策」は撤廃され「マイナス金利政策」も終了に向けた動きが始まると見ている
- ・ これに伴い、為替レートは2023年に進んだ円安の一部巻き戻しが予想される

新興国の見通し

	実質GDP成長率(%)		インフレ率(%)		政策金利(%)		10年国債利回り(%)	
	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予	2023年予	2024年予
新興国 (除く中国、ロシア)	3.0	3.0	12.0	12.4	11.82	11.92	7.35	6.90
中国	4.8	4.5	1.5	1.5	1.75	1.50	2.56	2.00
アジア (除く日本・中国)	4.0	4.3	4.0	3.5	4.74	4.20	4.95	4.74
ラテンアメリカ	2.0	1.2	19.9	22.7	21.5	21.6	9.26	8.14
EEMEA*	2.2	1.6	16.9	15.6	17.6	16.6	6.99	6.80

2023年12月31日現在。AB予想。予想は今後変更される可能性があります。*EEMEA: 東欧・中東・アフリカ。出所: AB

- ・ 中国では、構造的な要因による長期的な成長率低下が進んでいる。世界経済が減速する中、金融政策・財政両面で国内景気を支える必要性が高まっているが、景気刺激策によって生じ得る不動産など各セクターの不均衡を抑制しつつ安定的な成長を目指すという政権の目標を考えると、実際にどのような政策が実施されるかは予想困難である
- ・ 中国の構造的な成長率低下や、先進国経済の景気減速にもかかわらず、新興国経済は世界的な金融緩和などに支えられ、全体として成長率の維持が予想される。中でも、金融緩和に加えて財政収支の安定や改善が見込まれる国々は、平均を上回るパフォーマンスが期待できると考えている
- ・ 2024年は重要な選挙が新興国でも数多く予定されており、年後半には米大統領選挙も大きな市場要因となる見通し

その他通貨

	2023年予	2024年予
米ドル／中国人民元	7.10	7.45
米ドル／英ポンド	1.29	1.30
米ドル／豪ドル	0.68	0.68

2023年12月31日現在。ABIによる各年末予想。予想は今後変更される可能性があります。出所：AB

当資料についての重要情報

当資料は、投資判断のご参考となる情報提供を目的としており勧誘を目的としたものではありません。特定の投資信託の取得をご希望の場合には、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず詳細をご確認のうえ、投資に関する最終決定はご自身で判断なさるようお願いいたします。以下の内容は、投資信託をお申込みされる際に、投資家の皆様に、ご確認いただきたい事項としてお知らせするものです。

- 投資信託のリスクについて
アライアンス・バーンスタイン株式会社の設定・運用する投資信託は、株式・債券等の値動きのある金融商品等に投資します(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。リスクの要因については、各投資信託が投資する金融商品等により異なりますので、お申込みにあたっては、各投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をご覧ください。
- お客様にご負担いただく費用—投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。
 - 申込時に直接ご負担いただく費用…申込手数料 上限3.3%(税抜3.0%)です。
 - 換金時に直接ご負担いただく費用…信託財産留保金 上限0.5%です。
 - 保有期間に間接的にご負担いただく費用…信託報酬 上限2.068%(税抜1.880%)です。

その他費用…上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アライアンス・バーンスタイン株式会社が運用する全ての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

